

# 高齢者てんかん

## ① 特徴

- ① 高齢者ではじめて発症するてんかんのほとんどが  
けいれんを伴わない焦点性てんかん（複雑部分発作）である。  
中でも側頭葉てんかんがほとんどを占める。
- ② 複雑部分発作は高齢者での発症が多いがすべての年令でみられ、  
てんかん発作の中で最も多いと言われる。
- ③ 意識を失うため自分では気づきにくいし、あとになって覚えていない。

## ② 側頭葉てんかんの発症パターン

（次のような①→②→③の順に症状が出て来て、数10秒から数分で終わる。）  
この①→②→③が1日に何回も繰り返しおこる。

### ① 凝視（数秒）

それまで会話していたのが、急に無表情になり一点を見つめて、動きが止まる。  
この時本人に意識は無い。これが数秒続いて（10秒以内）次の自動症に移る。



### ② 口部自動症（1～2分）

口をクチュクチュさせたり  
手をモソモソさせる。



### ①凝視

②クチャクチャ  
モグモグ



### ②モソモソ

### ③ もうろう状態

キョロキョロとあたりを見回したり、ヨロヨロ、あたふたする。  
ウロウロ歩き回ることもある。  
声かけに対して生返事をするが、あとで覚えていない。

①のときに前兆として、吐き気、におい、デジャビューが先行して  
起こることがある。つまり約10秒間ほど、以前見たことのあるような  
風景が浮かんで来ることがある。

②普通3～30分で終わるが、5分以上かかったり、短時間で  
あっても1日に何度も反復することもある。（重積発作）  
30分以上続くと不可避な脳損傷をひきおこす危険あり。

前頭葉てんかんの場合は体全体をクネクネさせたり、自転車漕ぎのような  
激しい体の動きをすることがある。  
持続時間は短い、何度も出現する。